

西淡・津井連続優勝

群を抜く技術、戦術眼

第2回全日本少年大会の兵庫代表を決める県大会は6月25日、神戸市兵庫区の御崎補助グラウンドで準決勝、決勝を行い、西淡・津井スポーツ少年団が揖保スポーツ少年団を破り、昨年に続いて兵庫代表の栄冠に輝いた。同少年団は7月31日から東京郊外よみうりランドで開かれる全国大会に出場、日本一の座をめざす。

決勝

西淡・津井 6 (3-0) 1 揖保

西淡・津井は好調な出足で前半3分、斉藤(正)が左足の鋭いシュートで先制。その後も斉藤、三木田らの活躍で、たて続けに3点のリードを奪った。後半に入っても

西淡・津井が一方向的に攻め、結局6-1で快勝した。揖保はチームワークがよく、最後まで勝負をすてずに粘ったが、1点を返しただけに終わった。

この日は、グラウンドのあちこちに水たまりができる悪状態だったが、応援にかけつけた父兄、級友の見守るなか、両チームのイレブンは汗と泥にまみれながら元気いっぱい戦った。

ワールドカップTV放映予定

NHK教育テレビ(12ch)で午後4時から5時半まで放映します。

1次リーグ

- 8日(土) アルゼンチン対フランス
- 9日(日) スコットランド対オランダ
- 15日(土) イタリア対ハンガリー
- 16日(日) ブラジル対オーストリア

2次リーグ

- 22日(土) ブラジル対ペルー
 - 23日(日) オーストリア対西ドイツ
 - 29日(土) ブラジル対ポーランド
 - 30日(日) アルゼンチン対ペルー
- なお8月は1日から5日までNHK総合テレビ(2ch)で放映の予定です。



少年サッカー技術講習会

兵庫県協会は少年選手および少年サッカー指導者を対象とした技術講習会を開催いたします。奮ってご参加ください。

と き…7月29日(土)午後1時より
7月30日(日)午前9時より
ところ…尼崎市潮小学校グラウンド
講 師…服部正義、黒田和生ほか
連絡先…師田二郎 ☎06(438)6664
〒661 尼崎市東富松小布羅川47

第2回全日本少年大会兵庫県予選結果

揖保サッカー少年団(西播)	2	4
東灘スポーツ少年団(神戸)	1	1
緑ヶ丘スポーツ少年団(北播)	2	1
四郷スポーツ少年団(姫路)	0	0
伊丹サッカークラブ(阪神)	4	0
やまてスポーツ少年団(東播)	0	0
潮スポーツ少年団(尼崎)	0	2
西淡・津井少年団(淡路)	9	6

優勝 西淡・津井

訂正: 6月号1面で阪神地区代表が西宮サッカークラブとあるのは、伊丹サッカークラブの誤りでした。おわびして訂正します。



2年連続優勝の西淡・津井少年団

梅雨空ふきとばす熱気

神戸市少年指導者講習会 女性含む39人が参加

6月6日から始まった今年の神戸市少年サッカー指導者講習会に39人の指導者が参加し、会場の神戸市立御影工高では、真剣なまなざしで実技と講義に取り組んでいる。受講生の内訳は初の女性2人を含め社会人35人、学生4人で、年齢も20歳から51歳まで幅広く、主任講師の一北四郎氏(神戸市協会理事長)をはじめ、少年サッカーの発展を願う関係者は、少年チームのめんどろをみる指導者の養成が急務だという理解のもとに、5年前からこの講習会を開いてきた。年ごとに増加する少年チームに対して、増々深刻な指導者不足が再認識され、また一方では、父兄の間にもサッカー熱が高まり、サッカーの経験はなくても、子供の指導に少しでも役に立てたらという積極的な参加意識が、今回の大盛況につながった。

今回の受講生の中には、これまでも何回か受講したことのある指導者が多い。これは、この講習会が単に指導法やサッカー理論の伝達の場合にとどまらず、それぞれのクラブの運営方法や情報交換に大きな役割をもっていることを意味するものであり、同時に指導者の熱意の高さがうかがわれる。

講習会は毎週火曜日の夕方6時半から8時半まで、御影工の会議室とグラウンドで行わ

受講生=井上啓徳、岡俊彦、岡部国雄、加藤雅之、○風間友三、○金子文夫、北村増雄、木村隆一郎、○清沢崇、桑田結、沢田輝夫、○杉村昌幸、高橋保英、田中英樹、佃佐知子、○鶴谷之人、東条健司、橋本昌治、初島章彦、日原素人、藤成弘、松村博支、宮崎光弘、宮田勝美、○宮本進次、○三好賢史、村田文夫、山下俊彦、山中嘉一、吉田雅文、吉原秀男、留田正彦、関英治郎、○高田宏、位田清澄、佐藤泰司、高須保昌、堀田清子、森下隆志 ○は再受講生 (39人)

れてきたが、7月11日で前期を終える。さらに後期は、9月下旬から6回にわたって開講されることになっている。なお、講習内容は次のとおり。(カ)A:講義50分、B:実技70分
6月6日Aサッカー概論、Bボール体操 6月13日A発育・発達について、Bドリブル 6月20日A競技規則I、Bトラッピング(ボールリフティング) 6月27日A競技規則II、Bパス(ボールリフティング) 7月4日Aコーチング法I、Bペデイング 7月11日Aコーチング法II、Bシュート



小雨のなかドリブル練習に励む受講生たち(6月13日、御影工グラウンド)

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 正信 ☎078(861)3100
なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。



神戸のサッカー

1978 7月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16-6
〒651-13 ☎(078)981-5867
発行人および編集人 加藤正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100
毎月1回10日発行 購読料1部20円

53年度兵庫県高校総体 全国高校総体兵庫予選

尼崎北に栄冠

部創立以来の快挙

尼崎北が初の栄冠に輝いた。史上最高127校が参加した53年度兵庫県高校総体は6月12日、尼崎北一県尼崎工の決勝戦が行われた。両チームとも決勝進出は初めて。前半、県尼崎工の猛攻を1点に抑えた尼崎北が、後半13分に右CKからゴール前で混戦となり、里見がけりこんで同点。28分には田口の中央突破からPKをさそって、決勝点をあげた。

御影工敗れる



部創立以来はじめての優勝に感激の尼崎北。福島で行われる全国大会での活躍に期待が集まる。前列右端から田中、田口両教諭

少年サッカーの成果

優勝した尼崎北は勝ち進むにつれて力をつけ、のびのびしたプレーは好印象を与えた。「サッカーの経験がない」という顧問の田中、田口両先生のもと、主将の中根を中心によくまとまっていた。校風の「自主独立」の方針にそって、毎日の練習もすべて選手が計画を立てている。選手のほとんどは小さいころからサッカーを始めており、尼崎市の潮スポーツ少年団や塚口中出身が多く、優勝するだけの力をそなえていた。チームの総得点24点のうち11点をあげたエース田口は「みっちり走り込んで、全国大会でもがんばりたい」と意欲的だ。

今年は波乱に富んだ大会だった。シードされた8校のうちベスト8に進出したのは、御影工と西宮東の2校。第1シードの御影工は



準々決勝までの御影工は安定した力を発揮していたが……。写真は北須磨戦で強烈なシュートを放つ大野(6月10日、六甲高グラウンド)

優秀選手に田口ら16人

須磨、県芦屋、北須磨は1、2年に有望な選手を抱えているだけに、今後の成長が注目される。また、西宮東も久しぶりに上位進出を果たし、GKがいっだけに、秋の高校選手権大会での活躍に期待がもてそうだ。

53年度兵庫県高校総体大会 兼全国高校総体大会兵庫県予選結果

御影工	8	5	3	明石南	0	2	1	市伊丹	0	2	1
播磨	0	5	3	市伊丹	0	2	1	市伊丹	0	2	1
三木	2	1	0	須磨工	0	2	1	須磨工	0	2	1
市芦屋	2	1	0	赤塚山	0	2	1	赤塚山	0	2	1
木	4	3	0	神戸	0	2	1	神戸	0	2	1
姫路別所	1	0	0	福崎	0	2	1	福崎	0	2	1
篠山鳳鳴	0	3	0	尼崎北	0	2	1	尼崎北	0	2	1
姫路南	1	3	0	洲本	0	2	1	洲本	0	2	1
甲陽	3	1	0	野実	0	2	1	野実	0	2	1
明石北	2	1	0	伊丹北	0	2	1	伊丹北	0	2	1
三原	2	4	0	加古川	0	2	1	加古川	0	2	1
関	0	4	0	姫路東	0	2	1	姫路東	0	2	1
北須磨	3	3	1	県芦屋	0	2	1	県芦屋	0	2	1
葦合	1	3	2	育英	0	2	1	育英	0	2	1
西宮今津	1	2	1	津名	0	2	1	津名	0	2	1
淳心	3	2	1	武庫	0	2	1	武庫	0	2	1
西宮東	5	8	3	洲本	0	2	1	洲本	0	2	1
竜野	0	8	3	市西	0	2	1	市西	0	2	1
舞子	1	2	1	須磨	0	2	1	須磨	0	2	1
八代	3	1	0	小野	0	2	1	小野	0	2	1
相生	0	1	0	香寺	0	2	1	香寺	0	2	1
香住	1	1	0	兵庫	0	2	1	兵庫	0	2	1
西	0	2	0	商工	0	2	1	商工	0	2	1
長田	3	2	0	姫路	0	2	1	姫路	0	2	1
尼崎産	2	0	0	神戸	0	2	1	神戸	0	2	1
武庫	5	0	0	北路	0	2	1	北路	0	2	1
西脇	1	7	3	兵庫	0	2	1	兵庫	0	2	1
県尼崎工	4	4	0	東	0	2	1	東	0	2	1
社	1	4	0	尼崎	0	2	1	尼崎	0	2	1
宝塚	6	4	0	志	0	2	1	志	0	2	1
市尼崎	0	4	0								
志	1	4	0								

組織を大幅に改革

兵庫県協会

砂田会長
留任

チームを1-4種に分類



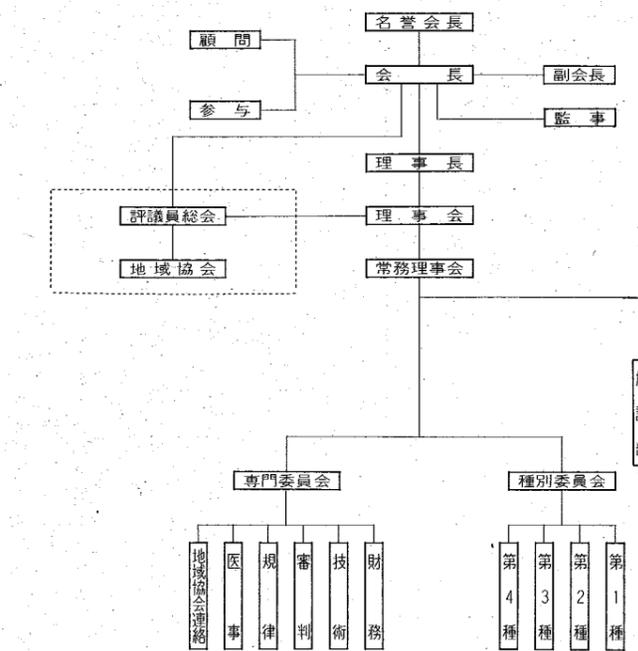
兵庫県サッカー協会は6月3日、神戸市灘区の神戸高同窓会館で53年度評議員総会を開き、52年度事業報告、同収支決算を承認したあと、

兵庫県協会役員

【名誉会長】玉井操 【会長】砂田重民 【副会長】赤川公一、瀬川幸一 【監事】安居律、二宮運次 【理事長】高砂嘉之 【事務局 担当】事務局長=中村寿男、庶務=(株)中村寿男、経理=浅堀保彦、登録=一北保五郎、広報=渉外=前野正、企画=蔵力、施設=(株)中村寿男 【専門委員長】財務=松本雅裕、技術=岡村敬、審判=高橋敏雄、規律=西林恵三、医事=皆木吉泰、都市協会連絡=一北四郎 【種別委員長】第1種=河北頼数、〔社会人担当〕(株)河北頼数、〔大学・高専担当〕五島祐治郎、第2種=佃幹夫、〔高校担当〕中谷元紀、〔クラブ担当〕(株)佃幹夫、第3種=前本勇二郎、〔中学担当〕(株)前本勇二郎、〔クラブ少年団担当〕白石幸夫、第4種=師田二郎 【無任所常務理事】吉江経雄、津川昌治



評議員総会で今年度の事業計画と予算が決められたあと、役員改選が行われた(6月3日、神戸高同窓会館で)



53年度事業計画、同予算を決めるとともに、53、54年度の役員改選を行った。事業計画では前年度までに引き続き、①サッカーの普及・振興の推進 ②サッカー王国兵庫にふさわしい競技力向上をめざす——を2つの柱として取り組むことになった。競技力向上では、技術委員会が中心となって少年、青年の国体代表チームと中学生選抜チームを強化するのをはじめ、各種の全国大会で上位進出を期すため、指導者講習会を開いてレベルアップを図る。

専門委員会と種別委員会を充実

新役員は砂田重民会長(写真)、2人の副会長それに理事長がいずれも留任した。今年度も注目されるのは、組織の大幅な変更である。年に1度開かれる評議員総会で選出される理事からなる理事会が、決議機関であるのに対し、常務理事会は執行機関として、事業の運営に直接関与する。これらの役割は従来どおり変わらないが、常務理事会を構成する2つの委員会の任務が明確にされた。

専門委員会と種別委員会それぞれ、専門委員会は財務、技術など6つの委員会に分けられるが、中でも地域協会と兵庫県協会との連絡を密接にする“パイプ役的存在”として新設された地域協会連絡

評議員総会で今年度の事業計画と予算が決められたあと、役員改選が行われた(6月3日、神戸高同窓会館で)

委員会の活動に期待が寄せられている。一方、種別委員会は、これまでチームを社会人、高校、中学、少年の4つに分けていたものを、日本協会の組織に合わせ、第1種から第4種までの4つの委員会に構成した。これで、登録チームは原則として、選手の年齢により分類されることになる。また、常務理事会には直轄の事務局が設けられ、事務関係全般の処理に当たる。

ごあいさつ

兵庫県協会長 砂田重民

ち密さの中にもスリルに富んだプレー、そしてスピードあふれる動き、そこに筋書きのないドラマを生むサッカーは、独特の魅力があります。サッカーは世界の至るところで親しまれており、6月にアルゼンチンで行われたワールドカップでは、手に汗にぎる試合が展開され、世界中のサッカーファンが熱狂しました。わが国におきましても、釜本選手やプロチームで活躍している奥寺選手をはじめ、多くの優秀な選手を輩出し、また各地に少年サッカー熱が高まっていることは、誠に喜ばしい限りであります。

私は現在、文部大臣として知育、徳育、体育のバランスのとれた人づくりに取り組んでおりますが、高度に発達した現代の社会では、ややもすると知育偏重になりがちです。昔から「健全な精神は健全な身体に宿る」といわれておりますが、サッカーは心身の鍛錬に最も適したスポーツであると思われまます。次代の日本を背負って立つ若い人たちが、サッカーで汗を流す姿は、本当に美しいものです。私も、学生時代はスポーツに熱中する毎日でしたが、そのころに養われた強い体と精神力が、いま大いに役立っているように感じられます。

ここ十数年来、兵庫県サッカー協会の会長を仰せつかり、このたび引き続き会長を任命されました。これを機会に決意を新たに、微力ながらサッカー王国兵庫にふさわしい環境づくりと、サッカーの普及・発展にがんばる所存でございます。最後に、兵庫県協会役員ならびに関係者の皆様方には、一段のご協力をお願い申し上げますとともに、サッカーマンのご活躍を心からお祈りいたします。

本紙は次のところにもあります

関正スポーツ
東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
パンドウ化学南

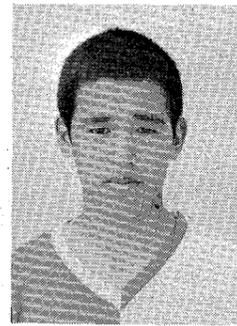
MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュショップ ☎078(391)0896
トーアロード店 ☎078(575)7688
神戸・新開地店

八木清悟(神戸FC)

ブラジル移民70周年記念行事の一つとして、ブラジル・サンパウロフットボール協会の招きを受け、静岡県清水市選抜チーム(清水FC)が遠征することになった。一行は選手40人、役員15人で8月7日に出発、現地で数試合が組まれているが、特に12万人収容のサンパウロスタジアムで、ブラジル選手権の前座として行われる公式試合は、ブラジル全土にテレビ放映され、日本でも中継できるよう関係者間で交渉が進んでいる。総監督の堀田哲爾氏は日本協会技術委員会中小部長でもあり、このチャンスを全国の優秀選手にも与えようと、清水市外より2人、静岡県外より3人をメンバーに加えた。この中で、神戸FCジュニアの八木清悟選手も代表に入っている。

ブラジル移民70周年記念 清水の遠征チームに選ばれる

八木選手は神戸市立丸山小学校6年の春から、桜井研二先生のもとでサッカーの手ほどきを受けた。雲雀丘中学に進学してからは、神戸FCに入りめきめき素質をのびし、今年春に行われた全日本選抜中学生大会では優秀選手に選ばれている。きょう面な性格で、サッカーへの情熱は人一倍強く、小学生のとき練習は一度も欠かしたことがない。桜井先生は、小学生段階で何を教えたらいかにについて正しい理解をもっており、細かいドリブル、3対3から5対5までのミニ・ゲームの中で八木選手を鍛えた。神戸FCでは加藤寛コーチのもとで、さらに正確で幅広い個人技の習得に、意欲的に取り組んだのだ。八木選手がここまで成長したのは、本人の才能



メモ やぎしんご 昭和38年8月1日生まれ。14歳。神戸市出身。丸山小6年の時からサッカーに親しむ。100メートル11秒9の俊足。よい姿勢でスピードのあるドリブルができ、そのままアウトフロント、チョップキックのパスが出せる。目標としているベッケンバウアーに似たオールラウンドプレイヤー。雲雀丘中学3年。171センチ、58キロ。神戸フットボールクラブ所属



桜井、加藤両指導者はその点に高い認識をもっている。梅雨あけとともにやってくる中学生活最後の夏休みも、八木選手はのんびりできそうもない。7月28日から31日まで、日本協会主催の全国優秀選手トレーニングセンター(よみうりランド)に参加、続いて8月上旬には清水市で2泊3日の合宿に入って、ブラジル遠征にそなえる。20日に帰国したあとは、所属の神戸FCジュニアチームの一員として、サマー・ジュニア・フェスティバルの試合が待っていて、勉強との両立に大変なシーズンを迎えるが、加藤寛コーチは「こういう機会に恵まれる人間は少ない。学校の勉強も大切だが、一生のうちで貴重な経験をするようになる。毎日の生活をひきしめ、一層飛躍してほしい」と願っている。家に帰ってから一人でもボールを追っている八木選手。はやる心は、もうブラジルの空に飛んでいるかもしれない。

サッカーの本場 ブラジルでプレー

と努力にもよるが、彼が育ったよい指導環境も見逃さない。小、中学年齢では、チームの勝敗よりも個人の力を伸ばす方が大切だが、

と願っている。家に帰ってから一人でもボールを追っている八木選手。はやる心は、もうブラジルの空に飛んでいるかもしれない。

53年度事業計画

兵庫県協会

【第1種委員会】
天皇杯全日本選手権兵庫大会 4月7日-7月23日
兵庫県社会人リーグ 前期 4月9日-6月4日 後期 9月初旬-10月下旬
各地区社会人リーグ 5月初旬-12月末
兵庫県地区社会人リーグ決勝大会 10月初旬-11月下旬
第33回国民体育大会青年の部兵庫選考会 7月
兵庫県選手権大会 1月下旬-2月下旬
兵庫県社会人リーグ入れ替え戦 2月
兵庫県社会人都市対抗大会 3月中旬
第59回天皇杯全日本選手権大会兵庫大会申し込み 1月31日締め切り
兵庫県大学選抜練習会(神大ほか) 8月中旬
兵庫県大学・社会人選抜対抗試合 8月下旬
兵庫県高専強化研修会(神大・高専ほか) 5月-6月

【第2種委員会】
兵庫県高校支部選抜大会(赤川杯) 4月3, 4, 5日(磯上)
兵庫県高等学校総合体育大会(六甲高ほか) 5月6日-6月12日
兵庫県高校選手権大会兼全国大会予選抽選会 10月5日
兵庫県高校選手権大会兼全国大会兵庫予選(神戸中央ほか) 10月28日, 30日, 11月3日, 4日, 5日, 11月11日, 12日, 18日, 19日, 23日
兵庫県高校新人大会兼近畿高校選手権大会 2月11, 12, 17, 18, 24, 25日

【第3種委員会】
全国中学生大会兵庫予選(御崎サブ, 磯上) 6月17, 18, 25日
兵庫県中学校総合体育大会(淡路) 8月7, 8日
兵庫県中学生新人大会(神戸中央ほか)

【第4種委員会】
第2回全日本少年大会兵庫予選(御崎サブ) 6月18, 25日

第11回兵庫県少年大会(御崎サブ) 11月5, 12日

【審判委員会】
審判委員会 5, 7, 9, 11, 1, 3月
審判講習会 各地区, 各種別毎, 随時
審判研修会 第1回 7月中旬(磯上)
第2回 2月24, 25日(神戸中央)

2級昇格検定
第1回 6-7月, 第2回 9-10月
第3回 2-3月

3級昇格検定 各地区, 随時

【技術委員会】
強化事業
(1) 国体代表チーム
A 少年 I. 高校支部選抜大会(県民大会一次) 4月
ロ. 代表決定選考会 6月18日, 25日
ハ. 強化練習 7月21日-8月25日
国体関西予選 8月26日-28日
予選後 9月-10月
ニ. 国体本大会 10月15日-20日
B 青年(a) 一般
代表決定選考会 6月-7月
国体関西予選 8月5, 12日
(b) 教員
強化合宿 7月
国体関西予選 8月

(2) 中学生選抜チームの編成と指導
指導事業
(1) 少年サッカー技術講習会(尼崎) 7月29, 30日
(2) コーチングスクール(J・F・Aリーダ養成コース) 4月23, 29, 30日, 5月3, 5日, 7月1, 2, 8, 9日
(3) J・F・A公認リーダ研修会 7月8, 9日, 9月2, 3日
(4) 中学生選抜選手指導会 3年・2年・1年・随時
(5) 支部指導者講習会(随時)

マックエルフV2 神戸市民大会社会人の部

昭和53年度神戸市民大会サッカー社会人の部は5月7日、神戸中央球場でマックエルフと兵庫朝鮮の間で決勝が行われ、マックエルフが2-1で勝ち、昨年に続いて2度目の優勝を飾った。

今年の参加は47チームで、マックエルフ、葺合クラブ、川崎重工の県リーグ勢も出場したが、神戸市リーグの各チームの奮闘が目立った。特に、決勝に進出した兵庫朝鮮や若い双和クラブは自信にあふれたプレーをみせ、今大会をもちあげた。

▶決勝戦 マックエルフ2-1兵庫朝鮮 ▶準決勝 マックエルフ②PK2葺合クラブ、兵庫朝鮮4-1双和クラブ ▶4回戦 マックエルフ2-1神戸スポマン、葺合クラブ3-2神戸FCユース、兵庫朝鮮3-1神大同好会、双和クラブ4-1川崎重工神戸 ▶3回戦 神大同好会①PK1六甲ヒルケル、兵庫朝鮮2-1是則運輸、双和クラブ2-0FCクレモナ、川崎重工神戸4-0神戸FC・A、葺合クラブ2-0三菱重工B、神戸FCユース2-0住友ゴム、神戸スポマン5-0神戸ライオン、マックエルフ3-2ナブコマイティ ▶2回戦 六甲ヒルケル2-0アーセナル、兵庫朝鮮2-1兵庫県庁、赤塚山OB6-0是則運輸、双和クラブ5-2鶴甲1丁目、FCクレモナ3-2舞子台クラブ、神戸FC・A1-0大森廻道店、三菱重工B②PK2須磨クラブ、住友ゴム3-1川鉄建材工業、神戸FCユース1-0神戸FC・B、神戸ライオン3-0三菱ユース、神戸スポマン3-1電々神戸、ナブコマイティ4-0ロジェ

神戸市社会人リーグ運営会議
8月24日(木)